

仮説実験授業の方法

1. 問題を出す（選択肢を示す）。
2. 各自、答の予想を回答用紙に記入する（理由を付記する）。
3. 挙手または “色柱”によって答の予想を示す
（大ざっぱな統計をとる）。
4. 何人かに答の予想と理由を発表してもらい、討論を行なう。
5. 討論の後、自分の答の予想を変更することを許す。
6. 教師が実験、またはデータによって正しい答を示す。

7. “私のコメント”として

自然界に見られる関連の現象

日常生活における応用例などを話す。

新しい仮説実験授業の方法

1. 色柱の工作時間をとる。クラスの後に戻す。
2. 設問を事前に知らせる。
設問を Wbsite に掲載しておく／印刷する。
クラスの前に（家で）考える時間、調べる時間をつくる。
3. 3人で1グループ（任意／隣席となった人）となる。
予想は各自、相談して多数予想を回答する。
4. 教師の説明に納得いかない場合には、クラスの中で質問する。
あるいは、コメントシートに書くか、ML に書き込む。
5. 回答用紙をコメントシートとする
（A4 用紙表裏に4問分を印刷しておく。）
6. 毎回クラスの後提出する）

I D. No : _____

N a m e : _____

◆Predict a correct answer among the proposed ones given
in NS-III class.

※ Put "X" if you can not find the proper answer.

Put "Q" if you do not understand the question
(ask the instructor).

Put "休" if you were absent in the class when the experiments
were done.

仮説実験授業 回答用紙

Q (問い) No.		主題 :	
実験内容 (Experiment)			
予想 (Prediction)	討論後の予想 (2nd Answer)	結果(Result)	
根拠、意見、他 (Reason, Comment, etc.)			